

EVERYTHING DiSC[®]
WORKPLACE[®]

映像台本

WILEY

EVERYTHING DiSC WORKPLACE®

DiSC®を活かした14の職場実例を含む*Everything DiSC Workplace®*映像を使用することによって、より効果的な職場の人間関係を築くことができます。当マニュアルには、「ファシリテーション資料」フォルダ内の**Video_BuildYourOwn** ファイルにある映像の台本が記載されています。



DiSCの紹介

各DiSCスタイルを紹介します。

3 ページ

他のスタイルの人と働く

異なるDiSCスタイルの4人の登場人物が質問に回答する形式で、自分自身について語ります。

4 ページ

職場での対応策

各DiSCスタイルの人と働く際の課題および、より効果的な関係を築くための対応策を各登場人物が語ります。

8 ページ

他の人のスタイルの見分け方

一人の役者が様々なDiSCスタイルを実演します。

12 ページ

DiSC®の紹介 4分30秒



もし、職場の人にこんな欲求が書いてあったらどうでしょう？

この人はもっと主体性を発揮したが、あの人はもう少し安心感が欲しいなど知ることができれば、職場での働き方は変わらぬでしょうか？ もっと働きやすくなるでしょうか？ そうかもしれませんが、現実にはそんなことは書いてありません。でも、もし、正確な解読装置があったなら、すべての人の欲求がもっと分かりやすくなるでしょう。もっと効果的、生産的に、満足して、人と働く方法が明確になるでしょう。必要なのは、人が何を求めているのかを知るためのツールです。それがDiSC®、人を読み解く方法です。周りの人の欲求や優先事項

を素早く理解できるようになるのです。DiSCには、4つの基本スタイルがあります…D、i、S、C。それでは、一緒に見てみましょう。まず、ドットの位置に注目しましょう。そのドットがあなたのDiSCスタイルを示しています。

例えば、あなたがD、つまり主導スタイルなら、おそらく、成果を求め、素早く行動し、現状を打破しようとする。たぶん、同じDスタイルの人同士では、時々衝突することはあっても、あなたの優先事項には共感するでしょう。しかし、D以外の人はこのアプローチをぶっきらぼうで、威圧的で、無神経だと思われかもしれません。

あなたがi、つまり感化スタイルなら、おそらく、熱意を持って仕事に取り組み、協力することを楽しく感じ、素早く行動するでしょう。他のスタイルの人たちはあなたと同じように、楽観的過ぎる時があっても、あなたのエネルギー溢れる様子に胸を躍らせるでしょう。しかし、i以外の人は、そんな活発さや速いペースを、ずさんで無謀だと思われかもしれません。

また、あなたがS、つまり安定スタイルならば、人を支援し、着実さを保ち、協力することを好むかもしれません。同じSスタイルの人は、あなたの忍耐強い、おらかな氣質を評価しますが、それはつまり周囲に緊迫感を感じさせないことでもあります。しかし、S以外の人は、あなたを過度に順応的で、決断力がないと見られるかもしれません。

最後に、あなたがC、つまり慎重スタイルなら、おそらく、正確さに焦点を合わせて、論理を用いて考えに異議を唱え、一貫した結果のために着実性を求めるでしょう。他のCスタイルの人たちも、あなたと同じように分析しすぎる傾向はありますが、あなたが物事の正確性を優先することを好むでしょう。しかし、C以外の人は、この用心深いとも言えるペースに、ドライな印象を受け、士気が下がるとも思われません。とはいえ、現実はいずれ単純にはいきません。

あなたのドットが、2つのスタイルの間、例えばiとSの領域の間に位置することもあります。そして、4つ、あるいは5つの優先事項を持つことさえあります。例えば、協力、熱意、支援に加えて、正確という優先事項を、Cスタイルの同僚と共有しているかもしれません。つまり、あなたは自分のDiSCスタイルを認識する必要があると同時に、共に働く人が何を求めているかを知る必要もあるのです。普段の交流においても、問題解決や対立に対処するような場合でも、自分と合わない人も、なんとか意思疎通しなげたいわけでもないときもあるでしょう。そのような時のガイドとしてDiSCを使用すると、自分のためだけでなく、職場のすべての人の成功のために、いっとうやって自分の行動を適応させたら良いか判断できるようになるでしょう。

他のスタイルの人と働く 6分

野村さん (D スタイル)



職場でのあなた自身をどう表現しますか？

ええ、行動的で自己主張するほうで、目標志向があります。自分は…出しやばるほうです。物事を実行していくのが好きで、どう やり遂げるべきかについて普段から自分の意見を持っています。

あなたがイライラするのは？

自分は、話し合いや分析に時間をかけすぎるのが嫌いです。

あなたと働く時、どんな点が大変だと思いますか？

ええと、少しぶっきらぼうだと言われます。でも、誰の気持ちも傷つけたいとは思っていません。自分が見たことを、その通りに話しているだけです。

対立にはどう対処しますか？

そうですね、人と対立すると燃えます。そして、とことんやり合います。自分が正しいという事を証明しなくてはと思いますからね。

伊藤さん(Sスタイル)

**職場でのあなた自身をどう表現しますか？**

良い質問ですね。ええと、そうですね。忍耐強い、うーん、友好的、献身的という感じですかね。

あなたがイライラするのは？

頑固な人。人に…つまり人の意見に関心を示す態度に欠けることですかね。

あなたと働く時、どんな点が大変だと思いますか？

私は、少し優柔不断だと言われることがあって自分でもそうかなと思います。決断力がないのかもしれませんが。でも、何か…大きな決定をする前に誰かの意見を聞くのはすごく良いことだと思っていますそうすれば、気分を害する人がいないようにできますからね。

対立にはどう対処しますか？

対立。私は人と対立することが苦手とかにかく嫌です。その場の緊張を和らげて、絶対に、本当の衝突にならないようにします。私は、なんとか波風を立てないように対処しますね。

他のスタイルの人と働く（続き）

高橋さん (iスタイル)



職場でのあなた自身をどう表現しますか？

私はエネルギーで元気が良いほうです。それから、人に話しかけるのが本当に好きです。人のことをもっと良く知りたいんですね。例えば、チームとして人と人を結びつけるのが本当に好きです。

あなたがイライラするのは？

物事が悪化していくのを、そのまま放っておく人ですね。例えば、なにか問題があってもそれを話そうとしない人。それでオフィス全体の雰囲気が悪くなってどうしようもなくなる。ちゃんと話さないとそうなるんです。

あなたと働く時、どんな点が大変だと思いますか？

ええと、私はかなり興奮するほうなので、物事を真剣に考えていないと思われることがあるかもしれません。それから、私は時々社交的過ぎる時があります。例えば、会議で話し始めるのは私ですし、終わってからはずっと誰かと話しています。

対立にはどう対処しますか？

ええと、最初は深く関わらないようにしています。私にはそれがいいと思います。というのは、いったん関わったら、感情的になってしまうんですね。それから、私は物事を主観的にとらえちゃう事があって、言わなければ良かったと思うことを言ってしまう。

小林さん(Cスタイル)

**職場でのあなた自身をどう表現しますか？**

信頼されていると思います。期限があれば守りますし、予算があればその予算内に抑えます。そういった意味で、信頼できる人間です。

あなたがイライラするのは？

私は予定を守らない人、遅刻する人が好きではありません。私と話す前に自分の考えをまとめておかないような人も好きになれません。そんなところです。

あなたと働く時、どんな点が大変だと思いますか？

完璧主義だとよく言われます。ミスを防ぐためには、あらゆる角度からチェックすることが欠かせないと思います。よく考えもせずに、見切り発車しても結局やり直しになることが多いですからね。

対立にはどう対処しますか？

その状況から離れます。対立することは不快に感じます。いったん距離を置くと、物事を客観的に見ることができて、感情と事実を分けて考えることができます。そうすると、何か解決策を思いつくんです。情報は多い方がいいですね。

職場での対応策

野村さんと働く場合 (D スタイル) 3分



D スタイルの野村さんと働く時の印象は？

(伊藤さん Sスタイル) 少し威圧的かも知れません。

(高橋さん iスタイル) ええと、私は野村さんの強さが好きです。物事を前に進めようとするところが好きなんです。それに、仕事に対してとても情熱的です。

(小林さん Cスタイル) ええと、私たちはかなり上手くやっています。自分の考えを話してくれるところやズバリ要点を言うところが好きです。

野村さんと働く時にどんな問題がありますか？

(伊藤さん Sスタイル) そうですね、野村さんは、すぐにじれっとなるようです。

(高橋さん iスタイル) 時々、野村さんは唐突なところがあります。せっかちなんじゃないですか。例えば、私の話を遮ることもありますし、私が伝えなきゃならない話を全部聞くつもりはない、という感じです。

(小林さん Cスタイル) そうですね。時々圧力を感じます。野村さんはアイデアを思いつくと、少し押しが強くなり過ぎる所があります。

野村さんと働く時に、これからどうしたら良いと思いますか？

(伊藤さん Sスタイル) 今度、野村さんが少し強引すぎることがあったら、それを遠慮なく伝えられると思います。やっと分かりました。野村さんはまさにそんなやりとりを望んでいたんですね。

(高橋さん iスタイル) 野村さんは私が単刀直入であることを好みます。私が何か話すと、たいてい野村さんは自分の強さを少し抑えようとしてくれます。たとえ結論が分かっていたとしても私の意見を最後まで聞いてほしいっていうことを野村さんに分かって頂けるようにしたいです。ただ、野村さんは物事を終わらせていただけなので、私もできるだけ早く要点を言うようにします。

(小林さん Cスタイル) そうですね…すぐに「No」と言ったりしないで、まあ、そう言いたくもなりますが、広い心を持ち続けるよう肝に銘じます。私にとって秩序は大事ですが、野村さんと一緒に働けるよう努力していますし、彼にも私の仕事上のリサーチに協力してもらったり、私のチームと話をしてくれるよう頼むつもりです。



高橋さんと働く場合 (i スタイル) 3分

i スタイルの高橋さんと働く時の印象は？

(野村さん Dスタイル) いい感じです。エネルギーなところがイイといつも思っています。

(伊藤さん Sスタイル) とてもうまくやれています。とても朗らかで面白いです。

(小林さん Cスタイル) 高橋さんの熱意は私たちを動かして、創造的にさせてくれます。

高橋さんと働く時にどんな問題がありますか？

(野村さん Dスタイル) そうですね、私が思うに一番問題なのは、高橋さんは話が止まらないことです。重要なポイントや考えを理解したら、すぐにでも話し合いたいのに、高橋さんは間を置かず話し続けるんです。

(伊藤さん Sスタイル) うーん、一つ思い付くのは、一緒に働くと、少し混乱してしまうんです。ええと、高橋さんはエネルギー過ぎて…、新しい事を始めるのも好きで…、でも、型にはまった仕事には興味を失ってしまうようです。

(小林さん Cスタイル) そうですね、高橋さんは、自分の考えをあれこれ大きげさに言って、口を挟んでくることがあります。でも、こちらが何か質問をすると、高橋さんは、「良く分からないけど…とにかくこれで上手くいくのよ！」と言うんです。

高橋さんと働く時に、これからどうしたら良いと思いますか？

(野村さん Dスタイル) そうですね、高橋さんには話したいことを全部話してもらって、彼女がしていることをまず受け止めるんです。たとえ話の途中で重要なポイントがつかめていても、彼女自身に説明してもらうようにしています。

(伊藤さん Sスタイル) ありのままの高橋さんを尊重しますが、物事が本筋からそれたり、飽きて放り出しているようなら遠慮なくそれを伝えるようにします。

(小林さん Cスタイル) 私は、高橋さんの考えや、不満や、興奮を理解するようにします。何気なく一言「あれにはちょっと頭にくるよね。」とか「あれは、なかなかいいよね！」と言ってあげると高橋さんは、私が耳を傾けていることを分かってくれます。そうすると、私が思っていることを話しても、批判的で、よそよそしいとは思わないでしようから。

職場での対応策（続き）

伊藤さんと働く場合（Sスタイル） 2分30秒



Sスタイルの伊藤さんと働く時の印象は？

（高橋さん i スタイル）伊藤さんは素晴らしいです。とっても思いやりがあって、助けてもらってます。それに、いつもちゃんと話を聞いてくれますからね。

（小林さん Cスタイル）そうですね、伊藤さんも私も、物事をきちんと時間をかけてやりたいほうです。二人とも、システムチックな仕事のやり方が好きです。

（野村さん Dスタイル）みんな伊藤さんと仲良くやっています。かえて、うまくやれないほうが不思議です。

伊藤さんと働く時にどんな問題がありますか？

（高橋さん i スタイル）一つだけ言えるのは、私よりも少し用心深いということですね。だから時々、物事を遅らせてしまうのかもしれませんが。

（小林さん Cスタイル）一つ言えるのは…、その、私が意見を言うと、伊藤さんは時々、批判されているように感じると言います。

（野村さん Dスタイル）そうですね、あえて1つ挙げるとすれば、伊藤さんがどっつつかずでイライラすることがあります。本当に賛成しているのか、ただ合わせようとしているのか見分けるのがとても難しいです。

伊藤さんと働く時に、これからどうしたら良いと思いますか？

（高橋さん i スタイル）ええと、伊藤さんがどうしてそう考えたのか理解してみようと思います。それに、私があればこれ言ったり、状況を変えてしまうと伊藤さんが混乱しちゃうことが分かってきました。

（小林さん Cスタイル）今になって分かりますが、私にとって合理的に思えることでも伊藤さんにとっては辛辣・批判的と捉えてしまうことがある、ということですね。今後は目に付く所を指摘するだけではなく、良いところも伝えるべきなのかもしれません。

（野村さん Dスタイル）意識して間を取り、伊藤さんが話し出せるようにします。伊藤さんの考えを求めて、意見をちゃんと聞いていることを分かってもらうようにします。自分にとっては、あまり簡単なことじゃないんですが。



小林さんと働く場合（Cスタイル）3分

Cスタイルの小林さんと働く時の印象は？

（高橋さん i スタイル）小林さんは、信頼できる人です。最後までやり通してくれるので、とても頼りにしています。そして、物事を分析するのがとても得意です。

（伊藤さん Sスタイル）私も物事が構造化されていたり、効率的になっているのが好きです。だから、一緒に働きやすいです。

（野村さん Dスタイル）小林さんは彼自信の事をよく分かっています。自分も、疑い深い性質なので、それが問題になることはありません。

小林さんと働く時にどんな問題がありますか？

（高橋さん i スタイル）小林さんは少し批判的になり過ぎる時があって…、すべて完璧じゃないとすまないようです。小林さんは私のように感情を表に出さないのが、どう解釈したら良いのか分からない時があります。

（伊藤さん Sスタイル）高橋さんが言った通りじゃないかと思います。初めて会った時、小林さんが黙っているのは、私を嫌いなのか…、怒っているのか…、何だか分かりませんでした。

（野村さん Dスタイル）自分が思うに、一番問題なのは、少し頑固なところだと思います。小林さんは、何かに賛成する前に必ず根拠が欲しいのだと思います。

小林さんと働く時に、これからどうしたら良いと思いますか？

（高橋さん i スタイル）小林さんを知っていくうちに、人前に出たがらないだけなんだということが分かってきました。それから、小林さんが指摘するのは、意地悪をしたいわけじゃなくて、物事をきちんとしたいだけなんです。小林さんが私の仕事をちゃんと確認してくれていると思うと、今となってはそれがとってもありがたいです。

（伊藤さん Sスタイル）小林さんは、何事も深く考える人ですから、人間味がなく冷たいように見えても、私のことを嫌っているのではなく…、人よりも物事に対して疑い深いからだとということが分かりました。それは覚えておくつもりです。

（野村さん Dスタイル）ひとつ間違っていたのは、自分に同意するよう、小林さんに圧力をかけていたことです。それは、単に彼を意図地にならせて強く抵抗するようにさせてしまいました。気付いたのは、私はただ指図してただけだったんです。小林さんを力づくで納得させようとしても無駄で、まず事実を述べる、次に、自分の立場を論理的に示す。さらに彼自身が決定するための時間を与えます。小林さんはかなり用心深い人なので、決定する前に吟味するための時間が必要なのであります。

他の人の見分け方（補足演習） 合計 5分

シナリオ 1



Cスタイル： 仕事の進め方の指針となるガイドラインを作りました。後ろの方には、前回からの注意事項も載せています。個人的には以前の方法がうまく行っていたとは思いません。ですから、一応欄は残してありますが、このガイドラインがくずれることはありません。何か問題が起こってから様子を見るというやり方も確かにありますが、今きちんと読んでくださったらもう少し詳しくお話が出来ます。

シナリオ 2



iスタイル： もちろん！何でもやるつもりですよ。やることが多ければ多いほど楽しいです。では、いつ私が行けばいいかだけ教えてください。そうそう、旅行の話が聞かなくちゃ！松井さんも呼んでくださいね。私が電話をしましょうか？それから、あの人も呼ばなきゃ！工藤さん。あの人、ほんとすごいんですよ。すぐにいろんな事を思いつくんです。前に一緒にランチを食った時もすごいアイデアを思いついたんです。

シナリオ 3



Dスタイル： 上手く行くと思いますよ。いい感じです。それで行きましょう。ただ、一つ気になるのは、いつまでに終わらるつもりなのか？月末が目標ならば何が何でもやり終えなきゃ。優先度の低い仕事で忙しいのなら、それを2週間先まで延ばせるか調整すればいいんです。みんな調整してますよ。言い訳はせず時間を無駄にしないこと。とにかく終わらせるんです。

シナリオ 4



Sスタイル： お役に立てて、とても嬉しいです。その件でわからないことがあれば、連絡してください。仕事の流れをすぐに理解するのは難しいかもしれませんが困った時はお手伝いします。それから、何か変更がある時は、できれば事前に教えてもらえると助かります。鈴木さんも同じチームとなるので彼が混乱しないように。ええ、念のためです。

シナリオ 5



CD/DCスタイル： 打ち合わせの時は、事前に資料を送ってもらわないと、こちらは困ります。打ち合わせでどんな質問をしりたいのか、事前に決めておきたいんです。この間は、本当にイライラしました。前回と同じようにまた準備が出来なかったらどンドン話が逸れて、打ち合わせが終わらないんです。だから、そういうことがないように、資料を事前にもらって、しっかりと準備したいんです。最初にきちんとやれば、困らずに済みます。

シナリオ 6



iS/Siスタイル： そう、そう、そうなんです。これは素晴らしいです。ありがとうございます。チームが望んでいたのは、まさにこれのことです。整合性を取るには、ひとひねりする必要がありますが、これは素晴らしいです。そして、主導権を明日、あなたが握ってくれたら、一番いいんですけどね。本当にあなたの助けが必要なんです。ちょうど時間があるので、明日の練習をしてみてもいいですよ。このプランというか…、あなたの考えも知っているつもりです。グループで意見を出し合って議論する所から始めましょう。意見を出し合えば、事前にみんなの気持ちを一つにできるから良いですよ。

シナリオ 7



Dスタイル： ええと、そうですね。素晴らしいけど…、だからどうだっていうんです？例えば、経費のことだけを考えて、事務所で使ったボールペンの数を数えてそれがいたい何になるんでしょうか。分析とか再分析とか単に数字が並んでいるだけ誰も方向性を決められなければただの堂々巡りです。分かりました。まず彼らと話をしてみます。そこでチームが必要としていることを率直に話すつもりです。そうしないと、これは片付きません。

シナリオ 8



Sスタイル： いえ、私が悪かったです。私がおもったのはっきり言うべきだったんです。今から確認しておきますね。おそらく大丈夫でしょう。あなたと菊池さんは、十分やってくれました。もし上手くいかないようなら、あなたの意見も聞いてみたいです。でも、忙しいなら、気にしないでください。これをやったことがあるあなたなら、何か良いアイデアを思いつくかもしれないと思っただけです。